

広報

ゆうべつ

2026

No.196

1

謹賀新年



今月の主な内容

- 新年のご挨拶
- 相互交流事業 ニュージーランド派遣
- 税に関する表彰・入賞作品

今月の表紙

朝日に照らされ 雪原に根を張る1本の木
皆さんにとって希望に満ちた年になりますように

新年を迎えて

湧別町長

加藤
政弘



せられるお声やご縁が、私に新たな町政の原動力を与えてくださることを大変心強く感じております。

昨年を振り返りますと、国内では大きな出来事が相次ぎ、私たちの生活や地域を直撃する課題が数多く浮き彫りになつた1年であります。

経済情勢に目を向けますと、物価高騰が続く中で高市新内閣が発足し、経済対策を積極的に推進する姿勢が示されています。エネルギー価格や生活必需品の値上がりが家計を圧迫し、私たちの生活に不安を与える状況に対し、国では『重点支援地方交付金』の拡充を通じて補助金や消費刺激策などの施策が進められており、私たち地方自治体もこうした国の政策と密接に連携し、町民の皆さまが安心して生活を営める環境を整えるために努力してまいります。

皆さま、新年明けましておめでとうございます。令和8年の新春を迎え、皆さまにおかれましては輝かしい新年をお過ごしこそであること心よりお祝い申し上げます。

また、日頃から町政へのご理解とご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

私は、昨年11月15日に湧別町長に就任させていただきました。それ以前は議会議員として町政に携わつてまいりました。就任して間もない状況ではあります、これまでの経験を生かしながら、町民の皆さまとともに湧別町の更なる発展を目指して日々努めております。皆さまから寄

さて、今年は干支である「午（うま）」の年です。馬は古来より「勢いよく駆ける」姿から、発展や飛躍、する動物とされてきました。これを私たちの町政にあてはめて考えるならば、この1年を町民の皆さまとともに挑戦を恐れず、新たな目標へと大きく飛躍する1年にしたいと考えております。馬が力強く地を蹴るよう、現状を見据えながら積極的に次のステージへと進むことが、未来への希望を育む原動力となると思つております。

町長としての歩みは始まつたばかりでございますが、魅力ある地域を目指し、産業の活性化や地域資源を生かした観光振興あるいは災害対策など、次世代へつながる社会づくりに力を注いでまいります。また、人口減少が進む中でも「住み続けたい」と思える町を実現するため、子育て支援の強化、高齢者サービスの充実、地域コミュニティの活性化などの取り組みを進め、町民の皆さまお一人おひとりに寄り添つた政策を実現してまいります。

結びに、本年が町民の皆さまにとって充実した一年となり、健康とご多幸に恵まれますことを心よりお祈り申し上げ、新春のご挨拶とさせていただきます。

謹賀新年

皆さまのご健康とご多幸を
心からお祈り申し上げます

湧別町
教育長 阿 部 勉

湧別町教育委員会

町 長 加 藤 政 弘

湧別町農業委員会

会 長 吉 村 智 之

湧別町選挙管理委員会

委員長 高 橋 直 司

湧別町監査委員

代 表 水 野 豊

湧別町消防団

団 長 高 橋 直 司

印
春

新年のご挨拶

湧別町議会議長

脇坂 敏夫



人ひとりの声にしっかりと耳を傾けながら取り組みを進めてまいります。幸いなことに湧別町は、町民の皆さまの努力の成果もあつて財政的に良好な状況にあります。しかし、新たな視点を持ち、議論を深めることで、今後の町政運営がさらに発展を遂げるよう、新体制のもとで一丸となつて努力してまいります。

さて、令和7年もたくさんのことが話題となりました。

高市早苗氏が女性初の内閣総理大臣に就任し、流行語大賞を受賞するなど時の人となりました。

スポーツでは、アメリカ大リーグでの日本人選手の大活躍、北海道日本ハムファイターズの躍進など、筋書きのないドラマを見せてくれました。

町内に目を向けると、少年野球、吹奏楽、陸上など多くの競技で全国大会や全道大会に出場するなど、湧別町の未来を担う子どもたちの活躍が見られました。

また、チューリップフェアや屯

員選挙を経て、新たな体制が発足いたしました。町民の皆さまが貴重な一票を通じて示されたご期待に応えるべく、議会としてはこれまで以上に公正で活発な議論を重ね、町民一

多くの品物の価格が高騰し、物価高が続いています。特に工ネルギー価格や食料品価格が引き続き上昇傾向にあり、多くの町民の皆さまが日々の暮らしに困難を感じていらっしゃつたことだと思います。

湧別町ではこれまでさまざまな対策を講じてまいりましたが、議会としては引き続き行政と連携しながら、町民生活への負担を少しでも軽減する施策を追求してまいります。

平成21年の合併以降、湧別町は、町民一人ひとりの力を結集させることで地域課題を乗り越え、発展を遂げてきた町です。スポーツや文化活動を通じて町民の絆を深めると同時に、時代に即した政策を実現し、町全体が継続的な発展を果たしてまいりました。

令和8年という新しい年も、この基盤をさらに強固なものにしつつ、「住みたい」「住み続けたい」と言われる町づくりを目指してまいります。

結びに、本年が皆さまにとって実り多き一年でありますよう、益々のご健勝とご多幸をご祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。

昨年は町長選挙ならびに町議会議員選挙を経て、新たな体制が発足いたしました。町民の皆さまが貴重な一票を通じて示されたご期待に応えるべく、議会としてはこれまで以上に公正で活発な議論を重ね、町民一

湧別町議会

謹んで

新春のお慶びを申し上げます

議長 脇坂 敏夫
副議長 下田 英人

総務厚生常任委員会委員長
村川 勝彦

産業文教常任委員会委員長
小形 秀和

議会運営委員会委員長
高田 映二

関 檜 姉 竹 大 村
野 山 崎 林 野 瀬 直
一 洋 正 直 真 由
良 一 弥 紀 由

令和7年度 相互交流事業 中高生ニュージーランド派遣



11月4日から14日までの11日間、中高生5人（湧別高校1人、遠軽高校1人、飛鳥未来高校1人、上湧別学園1人、ゆうべつ学園1人）と引率者2人の計7人が、友好都市であるニュージーランドのセルウィン町などを訪問しました。

ホストファミリーと上手くコミュニケーションを取り、ニュージーランドの生活を満喫する一方、自分の目標達成のため一生懸命たくさんのこと学んできた派遣者のレポートをご紹介します。

※紙面の都合上、抜粋して掲載しています。全文は
町ホームページと図書館で公開しています。



町ホームページ



ニュージーランド派遣について

湧別高等学校3年 加藤 優希

私はニュージーランドの人々の価値観を学ぶ、英語力を鍛える、そして現地の文化を楽しむという目標を立てました。

一つ目のニュージーランドの人々の価値観を学ぶという目標はホストファミリーやダーフィールドハイスクールでの先生や生徒、現地の人の接し方から学び、目標を達成できたと思います。

ダーフィールドハイスクールの授業で「ハラケケ」という葉っぱを使ってプレスレットやバラを作っていたのですが、私は最初から最後まで悪戦苦闘していました。それでも、その授業の先生は最初から最後まで自分に付き添って教えてくれました。私は迷惑をかけてしまったと思ったのですが、先生はどんなときもニコニコしていて、優しく教えてくれました。

二つ目の英語力を鍛えるという目標に関しても達成できたと思います。しかし、私はカタカナ英語に慣れているため、現地の人が話している本当の英会話についていくことができず何度も聞き直したり、アプリを使って翻訳をすることもありました。それでも、何とかホストファミリーやバディ、先生や店員さんとコミュニケーションを取ることができ、ニュー

ジーランドに行く前よりはスムーズにできたのではないかと思いました。

三つ目の文化を楽しむという目標も達成できたと思います。私は現地での自然や動物、建物を見たり現地の食事を楽しむことができました。日本とは違う自然がニュージーランドにはたくさんあり、中でも印象に残ったものがキャッスルヒルの岩やクライストチャーチの展望台に生えていたタリックというイネ科の植物です。動物はたくさんの種類がいて、極めて希少な鳥のタカへ、国鳥のキーウィ、多くの羊などがいました。

私がこの研修に参加することができたのは、たくさんの人の協力があったからだと思います。みなさん、本当にありがとうございました。



ニュージーランド派遣について

遠軽高等学校3年 内野 凜

私はニュージーランドに留学してみて、たくさんの事を学びとても良い経験をすることができました。この留学で将来的に必要となるコミュニケーションスキルを上げたいというのと、ニュージーランドの文化について知りたいと思い参加しました。

最初の頃は、ホストファミリーが何を言っているのかが全く分からず早くもめげそうになりましたが、曖昧な英語でも自分の言葉でなるべく話したいと思い、英語が分からなくともたくさんコミュニケーションを取れたかと思います。

ニュージーランドの文化について多くのことを学ぶことができました。学校では授業でマオリについて一日学ぶ機会があり、マオリについて知ることができました。バディとフライブレッドというマオリの伝統的な揚げパンを作り食べたり、ハラケケという丈夫な葉を使い、プレスレットや花を作りました。

ニュージーランドの学校は日本の学校と比べるとラフな印象を受けました。小学生からピアスやネックレスを

つけたり、髪色を変えたりしていたり、休み時間もみんな外に出てそれぞれの時間を過ごしていました。そして、生徒のみんなはとてもフレンドリーでたくさん声をかけてくれて、人の温かみをとても感じました。

私はこの留学でたくさんの事を学び、自分の自信になるものを得ることができたし、ホストファミリーや学校のバディとのたくさんの思い出を作ることができました。最初はとても不安でやつていいかなと思っていましたが、ホストファミリーや周りの方のおかげで楽しくてとても濃い留学生活を送ることができました。この経験を生かして進学した後もその先も頑張っていきたいと思います。



ニュージーランド派遣について

飛鳥未来高等学校3年 久保 優心

私は中学生の頃、留学に行きたくて仕方ありませんでした。キラキラした部分だけを見ていて、留学をしただけで自分が変わるとと思っていたからです。ですが、高校生の私は留学に行ってみたい気持ちと行きたくない気持ちがありました。自分自身が高校で色々な経験をして自分に自信もなかつたし、結局自分には無理だと半ば諦めていました。この交流事業が今年開催されたと知った時、正直行きたくないと思いました。でも父や母、姉が背中を押してくれて参加することになりました。

交流事業に参加してみた今、私は本当にニュージーランドに行ってよかったです。私がみていたちっぽけな世界だけでなく、こんなにも違った世界があることを知れ、周りの目を気にせずに過ごせる場所に出会いました。

ニュージーランドと日本で人の価値観が大幅に違うと思うところはありませんでしたが、ニュージーランドの普通と日本の普通は違うということに気付くことができ

ました。ダーフィールドの生徒はピアスをあけ、髪を染め、メイクもしておしゃれを楽しんでいました。街中では裸足で歩いたり、日本では視線を向けられるようなノンスリーブやタイトな服などもみんな気にせずに着ていました。また、ショッピングの際は、店員さんと目が合うと笑顔で挨拶をしてくれます。知らない人でもフレンドリーに挨拶し合うところが本当に素敵だと感じました。反対に日本の良いところも感じることができました。ご飯の美味しさや礼儀、丁寧さなどです。

言葉の壁は大きく感じましたが、優しい人が多くて初めての海外はとても良い思い出になりました。



ニュージーランドでの学び

上湧別学園8年 村上 謙心

初めての海外は楽しみよりも不安の方が大きく、英語が上手く通じるのか、ホストファミリーに上手く馴染めるのか、学校で友達ができるのかなど、色々なことを考えてしまいました。しかし、いざニュージーランドに着いたら、思ったよりなんとかなるなと安心しました。

滞在中はダーフィールドハイスクールでマオリの文化について学んだり、英語について学習しました。また、歓迎会のハカは迫力があり、見応えがありました。自分たちはそのお返しとしてパプリカを踊りました。

週末はホストファミリーと海を見に行き、海は透き通るほど青くカモメのような鳥がたくさんいて、ニュージーランドでも海は日本と似ているように感じました。その後、ショッピングモールで日本のお土産を買い、ちょうどハロウィンも終わった時期だったので、クリスマスの準備をしていました。ニュージーランドではクリスマスの準備が早いようです。

日曜日はホストファミリーのリアンのマウンテンバイ

ク場を見に行きました。マウンテンバイク場を見たのは初めてでしたが、大きなワクワク感に包まれました。次の日がデイツアーで楽しみからか夜はあまり眠れませんでした。デイツアーでは山に行き、山の石は遠目からは小さく見えたが、近くで見るとその迫力に圧倒されました。

さよならパーティーでは、ホストファミリーとたくさんお話をしました。ホストファミリーとのお別れは寂しかったですが、楽しい思い出を作れてよかったです。

苦労した事もたくさんありました。留学に行ってよかったです。



ニュージーランド派遣について

ゆうべつ学園8年 平形 楓

私は留学に行く前は「なんとかなるだろう」と思っていましたが、ホームステイ初日、ホストマザーやホストシスターが話している英語は事前研修で習っていたようなゆっくりで分かりやすい英語とは違い、早く何を言っているのか想像もつきませんでした。ですが、ホストファミリーは優しくて、スマートフォンや簡単な単語を言ってくれたり、ゆっくり話しジェスチャーなどで私に伝えるためにたくさん工夫してくれました。なので、私はある程度理解することができました。

私は英語がペラペラではないので、主に「Do you～？」 「Can I～？」などの簡単な英語で質問をして会話を広げ英語でのコミュニケーションを取りました。

私がニュージーランドに行って驚いたことは、まずニュージーランドの生活では、私のホストファミリーはご飯をテーブルで食べないことです。日本ではテーブルで食べることが当たり前だけど、ニュージーランドには、食卓用のテーブルがない家があって、ソファーに座って

食べていたので驚きました。学校生活では、ブレスレットやネックレスをつけていたり、スカートがとても短かったです。私のホストファミリーは髪の毛を染めていて、

「私の学校では髪を染めちゃいけないんだよ」と言ったら、とても驚いていました。先生もワンピースを着ていたし、学校バディの授業を見に行ったらテストをして、生徒が真面目にやっていなかつたので先生が回答用紙をビリビリに破いて、「Out Side」と言っていました。それをみて私は日本ではありえないことばかりで驚きました。



派遣に参加した中高生の保護者の声をご紹介します

- 事前研修からとても楽しいと笑顔が溢れていました。
- 事前研修を行うたびに自信がついてると思いました。
- 自信を持って行動することができるようになったと思います。
- 思ったことをたくさん話してくれるようになりました。
- 帰国後、英語の発音が良くなっていました。
- ニュージーランドのことについて事前に調べ準備したことで調べる力がついたと思います。
- 引率者もいるので安心して送り出せました。
- 新たな自分を発見できたり、日本や湧別ではできないことにチャレンジしてほしいです

